

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIグローバル株式債券バランス・ファンド（為替ヘッジなし）」は、2024年5月28日に第5期決算を行いました。

当ファンドは、主として外国投資信託証券「LQファンズ-プラネタリー・トランジション（円ヘッジなし ユーロ建）」及び「LQファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジなし ユーロ建）」への投資を通じて、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第5期末（2024年5月28日）

基準価額	14,978円
純資産総額	1,293百万円
第5期	
騰落率	17.8%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

# SBIグローバル株式債券 バランス・ファンド （為替ヘッジなし）

追加型投信／内外／資産複合

## 交付運用報告書

第5期（決算日2024年5月28日）

作成対象期間（2023年5月30日～2024年5月28日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiam.co.jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移

(2023年5月30日～2024年5月28日)



期 首：12,719円

期 末：14,978円 (既払分配金 (税込み) : 0円)

騰 落 率：17.8% (分配金再投資ベース)

- (注1) 当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
- (注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

## ○基準価額の主な変動要因

## 上昇要因

- ・米消費者物価指数（CPI）の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待
- ・米国景気の軟着陸への期待
- ・人工知能（AI）関連の半導体需要増への期待によるハイテク株高
- ・米国の債務不履行回避
- ・堅調な米景気指標、FRB（米連邦準備制度理事会）による早期利下げを巡る不透明感、米長期金利の上昇などから、ドル高・円安に転じました。日銀が国債買い入れを継続する方針を示す中、日本の緩和的な金融環境の継続が改めて意識されたこと、また、中東情勢への懸念などからドルが買われたこともあって、円安が進行しました。

## 下落要因

- ・米景気の軟着陸期待、CPIの上昇
- ・米公開市場委員会（FOMC）の政策金利引上げ
- ・米連邦準備制度理事会（FRB）の金融引締め長期化観測
- ・根強い米インフレによりFRB早期利下げ観測が後退したこと
- ・中東情勢の緊迫化によりリスク回避が強まったこと

## 1万口当たりの費用明細

（2023年5月30日～2024年5月28日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	158 円	1.174 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 67 ）	（0.494）	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 89 ）	（0.658）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 3 ）	（0.022）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	17	0.123	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	（ 7 ）	（0.049）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	（ 10 ）	（0.074）	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	175	1.297	
期中の平均基準価額は、13,481円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

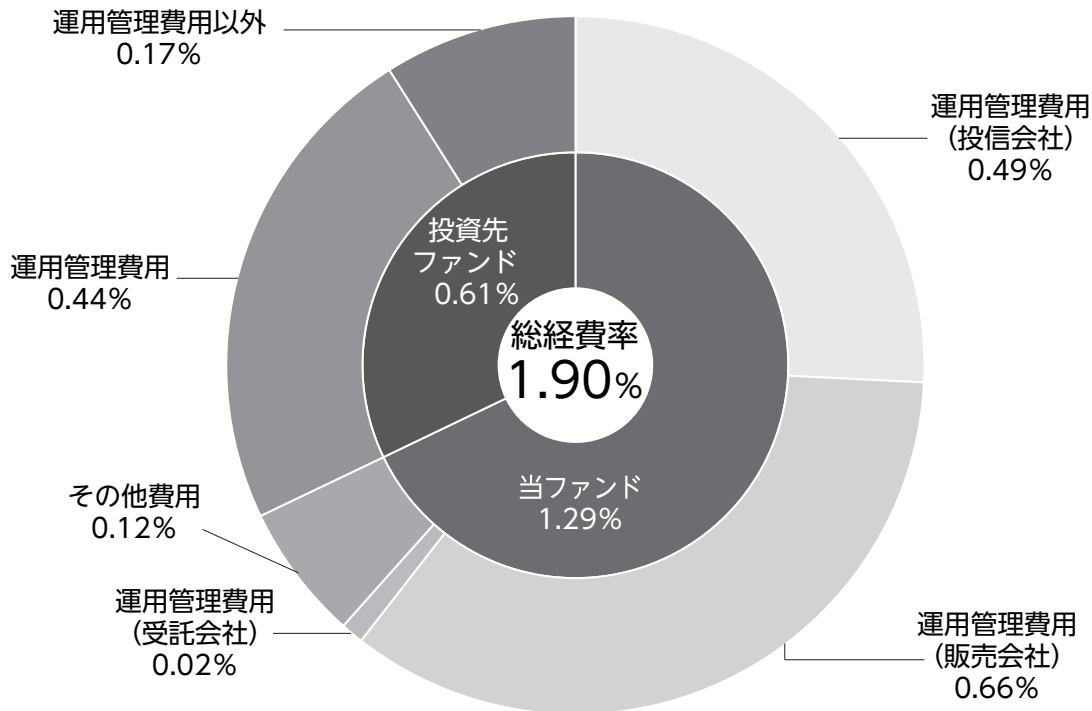
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



(単位：%)

総経費率 (①+②+③)	1.90
①当ファンドの費用の比率	1.29
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.44
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.17

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理比率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

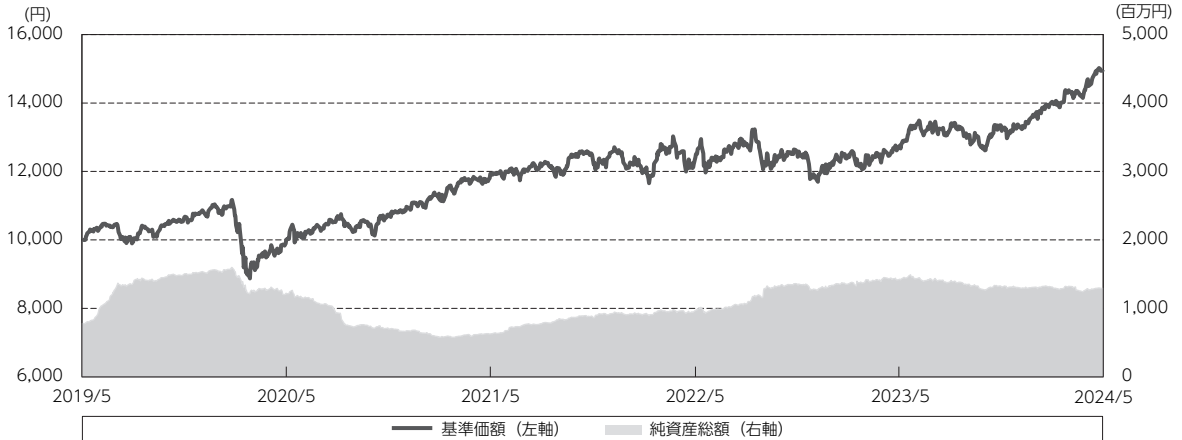
(注6) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7) ①と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2019年5月28日～2024年5月28日）



(注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2019年5月30日から2024年5月28日）のみの記載となります。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2019年5月30日 設定日	2020年5月28日 決算日	2021年5月28日 決算日	2022年5月30日 決算日	2023年5月29日 決算日	2024年5月28日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,010	11,930	12,424	12,719	14,978
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	0.1	19.2	4.1	2.4	17.8
純資産総額 (百万円)	777	1,220	624	967	1,420	1,293

(注1) 当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2020年5月28日の騰落率は設定当初との比較です。

**投資環境**

（2023年5月30日～2024年5月28日）

※下記データ及びコメントにつきましては、本ファンドの主要投資対象である「[LOファンズ-プラネタリー・トランジション] 及び [LOファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド] をそれぞれ運用するロンパー・オディエ・アセット・マネジメント（スイス） エス・エー又はロンパー・オディエ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ） リミテッド/アファーマティブ・インベストメント・マネジメント・パートナーズ・リミテッド（AIM）（以下、「ロンパー・オディエ社」と総称することとします）からの資料を基にSBIアセットマネジメントにて編集しています。

**【株式市場】**

当該期間において、株式市場は市場動向に大きな影響を与えた一連の変化や事象を経験しました。当初は、中央銀行の金融引き締めサイクルが終わりに近づいていることに注目が集まりました。しかし、その後、米国経済が底堅さを示した一方、ユーロ圏が経済的な困難に直面し、高金利の長期化懸念が浮上しました。中国では、不動産市場とシャドーバンキング・セクターをめぐる懸念が、投資家の信頼感に影響を与えました。2023年後半には、米国債の逆イールド、中東紛争のコモディティ市場への波及、および「ピーク金利」をめぐる議論の台頭が、株式市場、特に情報技術、不動産、および資本財・サービス・セクターに大きな影響を及ぼしました。

2024年に入り、米国の経済指標が景気予測の上方修正を支えた一方で、欧州の景気回復は一様ではありませんでした。中国では鉱工業生産と小売売上高に改善が見られたものの、海外直接投資と住宅販売は厳しい状況が続きました。第1四半期決算シーズンは一部のセクターと日本株に好結果をもたらしました。しかし、4月の国債利回りの上昇を受け、世界経済の回復とコモディティ価格の変動を主因とするインフレ圧力への懸念が高まりました。

**【債券市場】**

過去12ヵ月で市場のセンチメントは大幅に変化し、さまざまな要因が投資家の懸念の最前線に現れました。2023年4－6月期には米国の債務上限と銀行セクターの緊張の両方をめぐる懸念からボラティリティが高まりました。7－9月期には利回りの大幅な上昇とイールドカーブのスティープ化へ関心が移り、米国10年利回りは2007年以来の水準に上昇しました。しかし、年末、米連邦準備制度理事会（FRB）の議事要旨が非常にハト派であると受け止められ、利回りは急低下しました。これに伴い、クレジット・スプレッドも大幅に縮小しました。過去12ヵ月の持続的なテーマは、インフレ率が依然高い水準にあり、利下げ期待が高まるが、その期待は市場と中央銀行によって先送りされ続ける、というものでした。

日銀は、2023年7月のイールドカーブ・コントロールの緩和や、2024年3月の17年ぶりの利上げなど、インフレ抑制に向け、一連の金融政策の調整を強いられることとなりました。対して、中国は、経済指標が予想を下回る状態が続き、金融緩和措置を実施しましたが、経済見通しに対する投資家の慎重な見方は変わらず、同国の債券利回りは低水準にとどまりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2023年5月30日～2024年5月28日）

## &lt;当ファンド&gt;

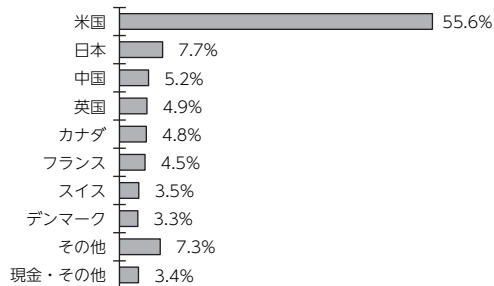
主として外国投資信託証券「L Oファンズ-プラネタリー・トランジション（円ヘッジなし ユーロ建）」及び「L Oファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジなし ユーロ建）」への投資を通じて、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

## &lt;L Oファンズ - プラネタリー・トランジション（円ヘッジなし ユーロ建）&gt;

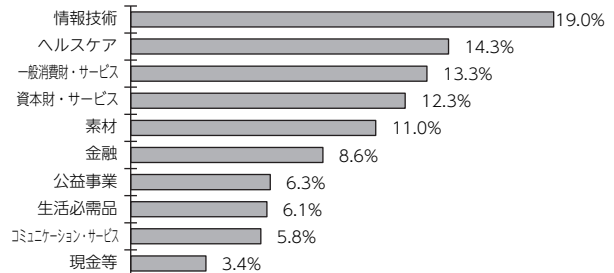
主として世界各国の株式等に投資し、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行いました。また、銘柄の選定にあたっては、E S Gの観点を加味し、複数の側面から銘柄の分析を行い、選定いたしました。

なお、直近4月末時点のポートフォリオについては以下の通りとなっています。

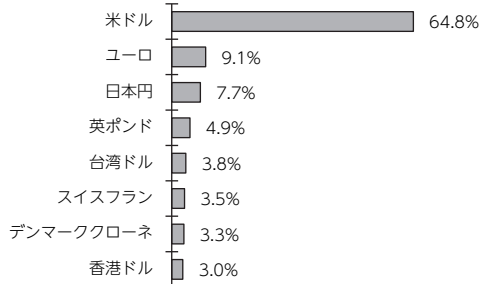
## 国・地域別構成



## 業種（セクター）別構成



## 通貨別構成



※上記比率はいずれも組入投資信託証券の純資産総額に対する割合です。  
 ※各構成比率については、四捨五入の関係上、合計が100%とならない場合があります。  
 ※業種別構成は世界産業分類基準（GICS）による分類です。

## 【組入上位10銘柄】

	銘柄名	国・地域	業種	比率 %
1	マイクロソフト (Microsoft Corp)	米国	情報技術	4.5
2	ネクステラ・エナジー (NextEra Energy, Inc)	米国	公益事業	4.0
3	アルファベット (Alphabet Inc)	米国	コミュニケーション・サービス	3.8
4	ノボ・ノルディスク (Novo Nordisk A/S)	デンマーク	ヘルスケア	3.3
5	アマゾン・ドット・コム (Amazon.com, Inc)	米国	一般消費財・サービス	3.2
6	サーモフィッシャーサイエンティフィック (Thermo Fisher Scientific, Inc)	米国	ヘルスケア	3.0
7	シマノ (Shimano Inc)	日本	一般消費財・サービス	2.9
8	エヌビディア (NVIDIA Corp)	米国	情報技術	2.9
9	クラウン・ホールディングス (Crown Holdings, Inc)	米国	素材	2.8
10	シュナイダーエレクトリック (Schneider Electric SE)	フランス	資本財・サービス	2.8
組入銘柄数			41銘柄	

※上記比率はいずれも組入投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

※組入上位10銘柄に記載の国・地域名は、発行国を表示しているため、主要取引所国とは一致しない場合があります。

※業種は世界産業分類基準（GICS）による分類です。

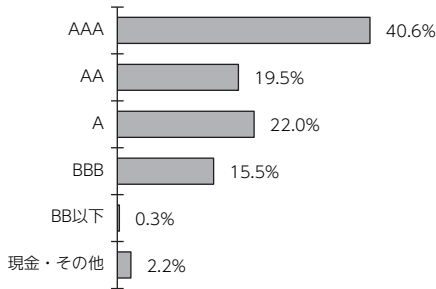


<LOファンズ - グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジなし ユーロ建）>

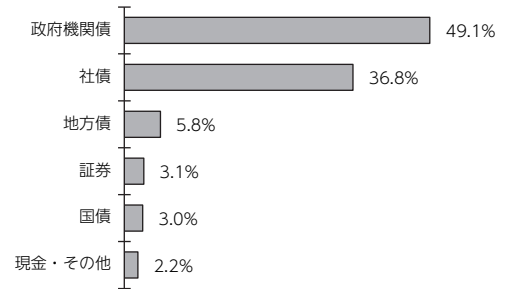
主として世界各国の債券等に投資し、気候変動の抑制／適応への貢献及びソーシャル・インパクトがあると考えられる債券を厳選し、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行いました。

なお、直近4月末時点のポートフォリオについては以下の通りとなっています。

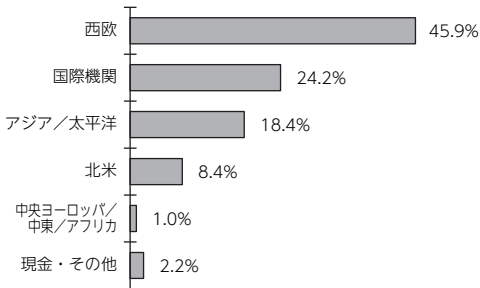
債券格付け構成



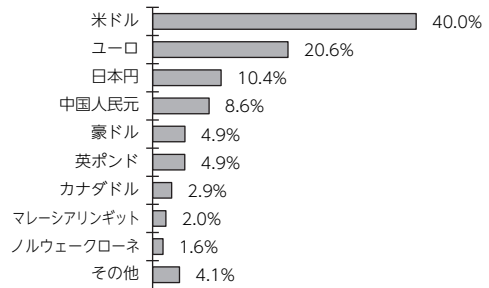
債券種別構成



地域別構成



通貨別構成



※上記比率はいずれも組入投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

※格付は S&P・Moody's の格付けのうち、高い方を記載しています。なお、両社にない場合は Fitch の格付けを採用しています。

※各構成比率については、四捨五入の関係上、合計が 100% とならない場合があります。

## 【ポートフォリオ構成】

平均クーポン（％）	2.40
平均残存期間（年）	6.49
平均格付け	AA-
修正デュレーション	5.62
組入銘柄数	178銘柄
最終利回り（％）	4.28

※「クーポン」とは、額面金額に対する単年の利息の割合です。

※格付はS&P・Moody'sの格付けのうち、高い方を記載しています。なお、両社にない場合はFitchの格付けを採用しています。

※「修正デュレーション」とは、債券投資におけるリスク度合いを表す指標の一つであり、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ（リスクの大きさ）を表します。

※デュレーションが長いほど債券価格の反応は大きくなります。

※「最終利回り」とは、満期までの保有を前提とした場合における、投資元本に対する収益の割合を表す指標です。

※記載の内容は基準日現在のものであり、将来における運用成果をお約束するものではありません。

## 【組入上位10銘柄】

	発行体名	国・地域等	債券種別	クーポン	償還日	格付け	比率
1	ドイツ復興金融公庫	ドイツ	政府機関債	0.75%	2030/9/30	AAA	6.1%
2	欧州投資銀行	国際機関	政府機関債	3.75%	2033/2/14	AAA	6.0
3	国際開発協会	国際機関	政府機関債	1.00%	2030/12/3	AAA	3.0
4	住宅金融支援機構	日本	政府機関債	0.61%	2034/12/19	A	2.1
5	国際復興開発銀行	国際機関	政府機関債	2.00%	2026/2/18	AAA	2.0
6	アジア開発銀行	国際機関	政府機関債	3.13%	2028/9/26	AAA	1.6
7	国際復興開発銀行	国際機関	政府機関債	7.25%	2027/1/21	AAA	1.6
8	欧州投資銀行	国際機関	政府機関債	1.63%	2031/5/13	AAA	1.5
9	ラボバンク	オランダ	社債	1.00%	2026/9/24	A	1.5
10	欧州連合	国際機関	政府機関債	1.25%	2043/2/4	AAA	1.3
	組入銘柄数			178銘柄			

※比率は組入投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

※格付はS&P・Moody'sの格付けのうち、高い方を記載しています。なお、両社にない場合はFitchの格付けを採用しています。

※記載の内容は基準日現在のものであり、将来における運用成果をお約束するものではありません。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

（2023年5月30日～2024年5月28日）

当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

**分配金**

（2023年5月30日～2024年5月28日）

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

**○分配原資の内訳**

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第5期
	2023年5月30日～ 2024年5月28日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,978

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の見通しと運用方針

### <当ファンド>

引き続き、外国投資信託証券「LQファンズ-プラネタリー・トランジション（円ヘッジなし ユーロ建）」及び「LQファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジなし ユーロ建）」への投資を通じて、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

なお、運用にあたっては、実質基本投資割合を株式50%、債券50%を基準として±10%の範囲を原則としつつ運用を行います。

### <LQファンズ-プラネタリー・トランジション（円ヘッジなし ユーロ建）>及び

### <LQファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジなし ユーロ建）>

当該外国投資信託を運用している、ロンバー・オディエ社は、以下のようにコメントをしています。

#### 【LQファンズ-プラネタリー・トランジション】

当ファンドではシステム・チェンジのフレームワークに従い、気候変動への対応、循環的な経済への移行、より良い社会経済的效果といったテーマに関連する、規制や技術革新、サービス、製品に関わる経済システムの変化から恩恵を受けると見込まれる企業を対象としています。2023年はクリーン・エネルギーをはじめ多くの投資テーマは逆風に見舞われましたが、確立された構造的トレンドに対する確信は変わらず、これまで見過ごされ、今後、投資家の注目を再び集める可能性のある魅力的な投資機会を見極めていきます。

#### 【LQファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド】

現在の利回り水準は、短期的には金利動向の期待に対するミスプライス、中長期的には十分なインフレ・リスク・プレミアムが欠如を表しているとみており、当ファンドにおいては、世界の金利水準に更なる上昇圧力がかかることを想定しています。

過去1年半に見られた世界的な金利上昇の累積の悪影響が、企業のバランスシートに顕在化するまでは、ポートフォリオにおける相対的な信用リスクのポジションは保守的なスタンスを継続しますが、低格付の優良債券を選別する機会を継続的に追及していきます。

## お知らせ

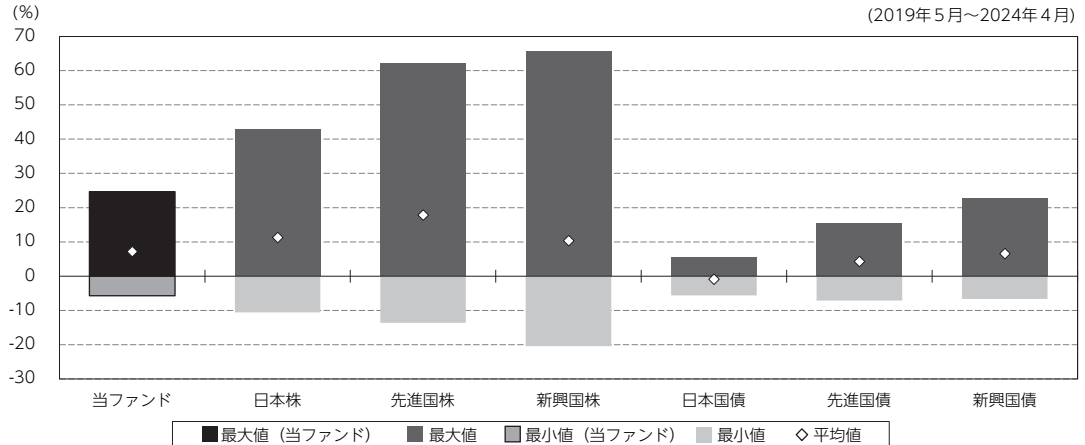
- ・投資対象のひとつである「LOファンズ - クライメイト・トランジション(円ヘッジなし ユーロ建)」は、「LOファンズ - プラネタリー・トランジション (円ヘッジなし ユーロ建)」に名称変更となりました。(実施日：2023年5月1日)
- ・当ファンドは約款変更を行い、ファンド名称を「SBI グローバルESGバランス・ファンド（為替ヘッジなし）（愛称：グリーンインパクト）」から「SBI グローバル株式債券バランス・ファンド（為替ヘッジなし）」に変更いたしました。愛称は削除となりました。(実施日：2023年8月30日)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	信託期間：2029年5月28日まで（設定日：2019年5月30日）
運用方針	この投資信託は、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資し、実質基本投資割合を株式50%、債券50%を基準として±10%の範囲を原則としつつ運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要投資対象	外国投資信託証券「LOファンズ-プラネタリー・トランジション (円ヘッジなし ユーロ建)」及び「LOファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド (円ヘッジなし ユーロ建)」を主要投資対象とします。
運用方法	世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行います。なお、ファンドが投資する投資信託証券では、その運用プロセスにおいてESGやインパクト投資のスクリーニングが含まれます。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
分配方針	毎決算時（年1回、毎年5月28日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針により、分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## (参考情報)

### ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	24.7	42.8	62.2	65.6	5.5	15.3	22.7
最小値	△ 5.7	△ 10.6	△ 13.6	△ 20.4	△ 5.6	△ 7.1	△ 6.6
平均値	7.2	11.3	17.8	10.3	△ 0.9	4.3	6.6

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2020年5月末から2024年4月末のデータを基に算出しています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注5) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

### 《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

\*海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

\*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2024年5月28日現在)

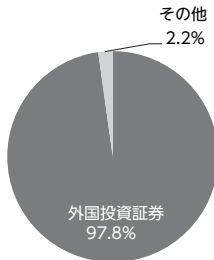
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第5期末 %
LOファンズ-プラネタリー・トランジション (円ヘッジなし ユーロ建)	54.5
LOファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド (円ヘッジなし ユーロ建)	43.3
組入銘柄数	2銘柄

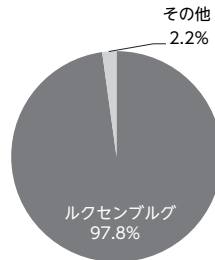
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

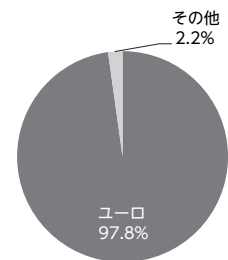
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

## 純資産等

項目	第5期末
	2024年5月28日
純資産総額	1,293,656,428円
受益権総口数	863,677,159口
1万口当たり基準価額	14,978円

(注) 期中における追加設定元本額は64,416,655円、同解約元本額は317,832,889円です。

## 組入上位ファンドの概要

### L Oファンズ-プラネタリー・トランジション（円ヘッジなし ユーロ建）

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。

#### 【基準価額の推移】



#### 【1万口当たりの費用明細】

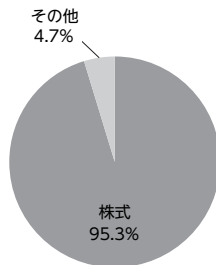
入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

#### 【組入上位10銘柄】

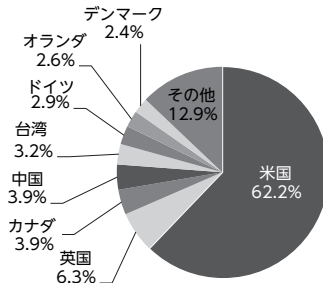
(2023年9月29日現在)

	銘柄名	国・地域	通貨	業種名	比率
1	クラウン・ホールディングス	米国	ドル	素材	3.1%
2	コンパス・グループ	英国	ポンド	一般消費財・サービス	2.9%
3	サーモフィッシャーサイエンティフィック	米国	ドル	ヘルスケア	2.8%
4	リパブリック・サービス	米国	ドル	資本財・サービス	2.7%
5	ゾエティス	米国	ドル	ヘルスケア	2.6%
6	ユナイテッド・レンタルズ	米国	ドル	資本財・サービス	2.6%
7	シュナイダーエレクトリック	フランス	ユーロ	資本財・サービス	2.6%
8	ASMインターナショナル	オランダ	ユーロ	情報技術	2.6%
9	オートデスク	米国	ドル	情報技術	2.5%
10	カナディアン・パシフィック・カンザス・シティ	カナダ	ドル	資本財・サービス	2.5%
組入銘柄数				47銘柄	

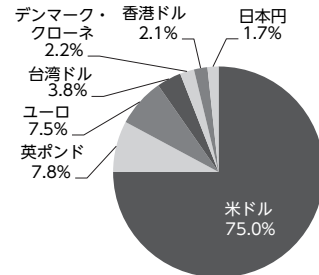
#### 【資産別配分】



#### 【国別配分】



#### 【通貨別配分】



(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年9月29日現在のものです。

(注2) 比率はいずれも主要組入投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

(注3) 資産別配分、国別配分、通貨別配分は小数点第2位で四捨五入しているため、合計が100%に満たない場合があります。

(注4) 業種は世界産業分類基準（GICS）による分類です。



LOファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジなし ユーロ建）

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。

【基準価額の推移】



【1万円当たりの費用明細】

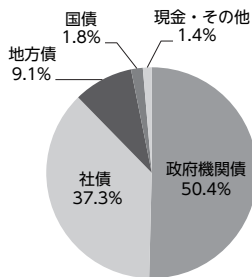
入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

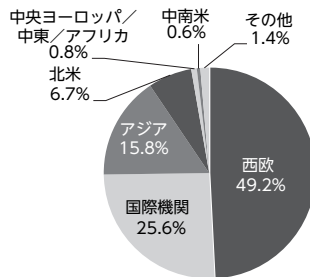
(2023年9月29日現在)

銘柄名	国・地域	債券種別	比率
1 欧州投資銀行	国際機関	政府機関債	5.2%
2 ドイツ復興金融公庫	ドイツ	政府機関債	4.5%
3 国際開発協会	国際機関	政府機関債	2.6%
4 アジア開発銀行	国際機関	政府機関債	2.1%
5 住宅金融支援機構	日本	政府機関債	2.0%
6 オランダ水道整備金融公庫	オランダ	政府機関債	1.9%
7 カナダ・オンタリオ州	カナダ	地方債	1.9%
8 国際復興開発銀行	国際機関	政府機関債	1.8%
9 欧州投資銀行	国際機関	政府機関債	1.7%
10 オランダ水道整備金融公庫	オランダ	政府機関債	1.5%
組入銘柄数	175銘柄		

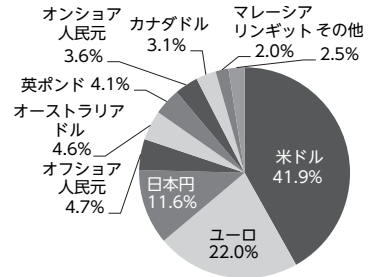
【資産別配分】



【国・地域別配分】



【通貨別配分】



(注1) 組入上位10銘柄、資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分のデータは2023年9月29日現在のものです。

(注2) 比率はいずれも主要組入投資信託証券のポートフォリオに対する割合です。

(注3) 資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は小数点第2位で四捨五入しているため、合計が100%に満たない場合があります。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### 〈各指数の概要〉

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

### 〈重要事項〉

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。